

ル  
ギ  
バ  
ー  
ネ  
の

受  
難



ようこそ  
いらっしやいました

ルザミーネ様

しかし  
お話に伺っていた  
通り……

とても子供を二人  
産んだ女性の躰とは  
思えませんか？

ここまでの長旅  
さぞかし  
お疲れでしょう……

専用のお部屋を  
ご用意いたしましたので  
ごゆっくり  
お休みください

んん  
んん  
んん

しかし……

ぐわわ  
ぐわわ

ぐわわ  
ぐわわ

お美しい……

我が村の  
「襖ぎ」は  
少々ハードでして……

このような華奢な  
躰で果たして  
耐えられますでしょうか？

無駄話は  
結構よ早くその  
「襖ぎ」とやらを済ませて  
この村に伝わる  
ウルトラビーストの伝承を  
教えて頂けるかしら？

私も暇ではないの

ではご希望通り……  
早速始めましょうか……

楔ぎを……

ヌメトドンの粘液に  
パラスのしびれ粉……

特に……

女の穢れは  
局部から  
滲み出ます……

躰から漂ってくる  
香りも素晴らしい……

ですがこのような  
性に溢れ穢れた  
躰を持つ方に  
我が村の伝承を  
教えるわけには  
行きませんなさ……？

ルザミーネ様のような

この聖水が  
ルザミーネ様の穢れた  
軀を清めてくれます

能書きはいいわ

暇ではないと  
言ったわよね？

なるほど……  
禊ぎとやらは

どうやらこの男の  
勝手な趣味のようね  
汚らわしい！

美しい方が相手ですと  
少し緊張しますな〜？

でもこの村に  
ウルトラビーストの伝承が  
隠されているのは間違いないわ

言いなりになって  
さっさと満足させて  
しまうのが手っ取り  
早そうね……

早くその禊ぎ  
とやらを済ませて頂戴？

ちくび……  
やめろ！

本格的な  
禊ぎを始めましょうか

くふふ……

せっかちなのは  
いけませんぞ〜？

覚悟して下さい  
ルザミーネ様

しかしルザミーネ様が  
そうおっしゃるなら  
致し方ありません……

おお……  
この香り……

何と香ばしい！

ん……

くっ……この粘液……  
ヤバイ……

しびれて感覚が  
あやふやになってるのに  
快楽は強烈に  
感じる……

この盃に  
ルザミーネ様の  
穢れ水をたっぷりと  
吐き出してください

可愛いですな  
ルザミーネ様……

その調子です

穢れ水？  
何を言っているの？

何を……！

キスは  
許さないわ！

褻ぎとは  
関係ないはずよ！

おやおや……  
禊ぎに注文を  
入れるとは……

随分と高飛車な  
お嬢さんだ……

神官である私との  
唾液交換も  
れっきとした  
禊ぎの一環……

余り不敬をしますと  
伝承をお教えるのも  
考えさせて頂きますが……

それでも  
いいのですかな？

ほら……  
飲め……

コイツ……

くっ……  
抵抗は許さないと  
言う  
訳ね……

最低の禊ぎだわ！

コイツ……





御覧なさい

ほら...

?

ルザミーネ様の  
穢れ水がこんなに...

このような濃い穢れは  
私も見た事ありません

なんと破廉恥な...

気持ちいいでしょう？

コレが  
穢れ水ですって？

バカなことを！

これではまだ  
伝承をお伝えする  
訳にはいきませんか？

禊ぎを続けましょう...

くっ...くっ...

れっれっ

あー...

れっれっ...  
あー...  
あー...

さーそうと決まれば  
次の禊ぎと  
参りましょう

この無防備な  
態勢なら  
ルザミーネ様も  
思う存分穢れを  
吐き出せるでしょう

……!

次はこの女淫某で  
ルザミーネ様の躰を  
清めて差し上げましょう……

清めの水が  
たっぷり塗られた  
無数のイボイボが……

今からルザミーネ様の  
極部を擦り上げます

こんなオモチャで……

ふん……

おやおや  
可やら勘違いを

これは禊ぎ……

ふんふん……

随分と用意が  
いいのね……

今までにも  
こうやって女を  
手籠めにして来た  
のかしら？

では参ります……

今はとにかく……

言いなりに

作られた不埒な  
物では決して  
ありませんよ？

そのよ……な不埒な  
物では決して  
ありませんよ？

やっぱり……  
そう簡単に  
ボロは出さないか

少しでも認めれば  
すぐにでも張り倒して  
やるのに……！

なるしか……

おまおま



おやおや……  
良い反応ですな  
ルザミーネ様？

先ほどまでの  
余裕は何処へ  
行ってしまわれたの  
ですか？

コレ……ヤバ……  
クリトリスずっと擦られて  
腰……碎ける……

うむ……先ほどから  
清めど清めど  
穢れ水が止まり  
ませんね……

乙女のような  
お声を出して……  
可愛らしいですな？



致し方ありません

中から清め  
ましようか……



んおあーい



ホレ……  
穢れを吐き出し  
なさい

ルザミーネ様

んおあーい

やはりルザミーネ様は  
特別穢れが濃い  
ようですね……

こんなに  
躰をのけぞらせて……

穢れが体内に  
たっぷりと溜まっている  
証拠ですな〜？

コイツ……  
とうと……

躰はガッチリ  
固定してありますから  
逃げられ  
ませんぞ〜？

中にまで……

ホレホレ……  
かんねんなさい

ほれいけ  
ほれいけ

全てを掻き出して  
やらねばなりませんな〜？



ほれほれ  
シーシー  
ほれほれ  
シーシー

おやおや  
またもやこんな  
穢れ水を……

なんと  
節操のない……

仕方ない  
方ですね……

ほほほ……  
全力のけ反り  
アクメ可愛いの〜

ルザミーネ様には  
禊ぎだけではなく

「清めの儀」を  
受けて頂きましょうか

かたがた

ちゅん

ルザミーネ様の  
躰は穢れに侵しつくされ  
ているようです……

「清めの儀」の前に  
全身を清めさせて  
頂きます

まあいいわ……

随分と凝った  
趣向なのね……

これが本当に  
伝承を伝えるのに  
必要なことなのかしら？

おやおや……

まだお疑い  
なのですね？

儀を信じなければ  
いつまでも穢れは  
抜けませんか？

ふん……

ふん……



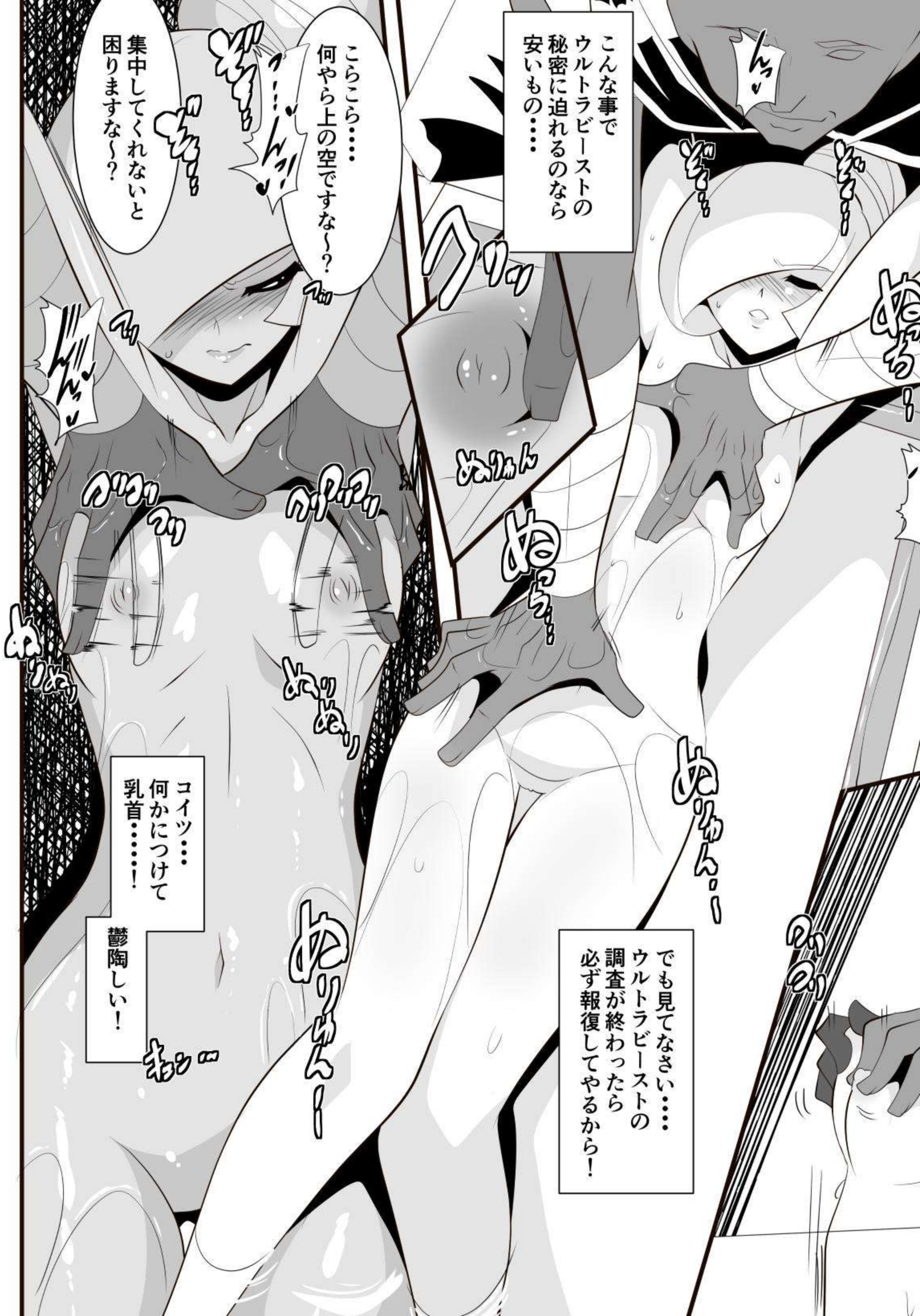
こんな事で  
ウルトラビーストの  
秘密に迫れるのなら  
安いもの……

こちらから……  
何やら上の空ですな〜？  
集中してくれないと  
困りますな〜？

でも見てなさい……  
ウルトラビーストの  
調査が終わったら  
必ず報復してやるから！

コイツ……  
何かにつけて  
乳首……！！

鬱陶しいー！



この粘液……  
さっきのとはまた違う……

しびれと痒みが  
同時に……

痒いところを愛撫されて  
苦しいくらい気持ちいいのに  
愛撫を止められると  
痒みで切なくなる……

ご安心ください

ルザミーネ様のような  
穢れ切った女性も  
これまで幾度となく  
清めてきましたので

私に全てを  
お任せください

あ……

あそこ  
パンパンするの……

ダメ……

また……乳首……

しつこい！

おやおや……

穢れ水だけでなく  
粗相まで  
してしまおうとは……

これは「清めの儀も」  
骨が折れそうですな〜？

さ……ルザミーネ様の  
躰も準備万端のようですし

「清めの儀」を  
始めましょうか

もう躰の  
抑え効かなく  
なってる……

不本意だけど……  
口車に乗ってあげる！

いいわ……  
受けて立って  
あげる……！

あら……  
もう辛抱  
たまらなく  
なったのかしら？

掛かりおったな  
ルザミーネ!

淫床に持ち込めば  
こっちのものよ!

これまでの見戯では  
済まさんぞ!

たっぷりと  
犯しつくして  
手籠めにしてくれるわ!

だめ...

いのちの匂い...



どうだ  
ルザミーネ?

特製のお香の  
効き目は...?

クサイハナの香りを  
利用した媚香だ

理性が掻き消され  
子作りの事しか  
考えられなくなる  
だろう?

最...低...



頭…回らなご…

私の躰…  
膣内をかき回されて  
喜んでる…

犯されてるのに  
気持ち良すぎる

この男…  
どこまでも  
用意周到…!!

完全にハマられた!

ホレ…  
舌を絡めろ!

絡めろ  
絡めろ  
絡めろ

ん…あ…





可愛いの〜  
可愛いの〜

こんな所から  
香ばしい匂いを  
させおって

誘っておるのか〜?

周りからチヤホヤ  
されて  
世の中何でも  
上手いと思うって

わんわん

わんわん

ふん  
ふん

L

わん  
わん



ふん……!!  
遂に本性を  
表したわね?

もう手遅れだ

ふん  
ふん

わん  
わん

私を騙して  
後でどうなるか  
分かっているのかしら?

わん  
わん

わん  
わん

僕の前では  
お前などただの  
小娘……  
年其の這いな  
この体にたっぷりと  
刻み込んでやるわ!

ほれ!  
両腋を見せろ!

お前は一生ここで  
僕の床女として  
暮らすのだ!

全てを曝け出した  
姿で僕の寵愛を  
受け入れろ!



芋虫のような躰……

ねっとり子宮に  
貼りつくような  
ピストン……

ほれ……

ココがええのんか？  
ココがええのんか？

ルザミーネの子宮が  
儂の子種を  
欲しがっておるぞ？

醜い男性器を  
遠慮なく子宮に  
押し付けて……

不愉快だわ！

ん？  
ポルチオが  
そんなに  
良かったか？

今すぐにも  
はねのけたいけど……



かわゆいの  
かわゆいの

ルザミーネ

絶対にはや  
あや...

禊ぎと称して  
じつくりと仕込んだ  
かいたあった...

すっかり子宮が  
降りてきて僕のモノを  
お出迎えしてしておるぞ...?

堪らす両脚で  
しがみ付いて  
来たな...?

やはりルザミーネは  
穢れた嫌らしい  
女だな...?

このまま僕の  
床女として  
墮ちるがいい!

またキスハメ...  
この男...  
本当に私の事を  
墮とすつもり!?

ほれ...飲め!

ああ...  
でもダメ...  
コレ...弱い...

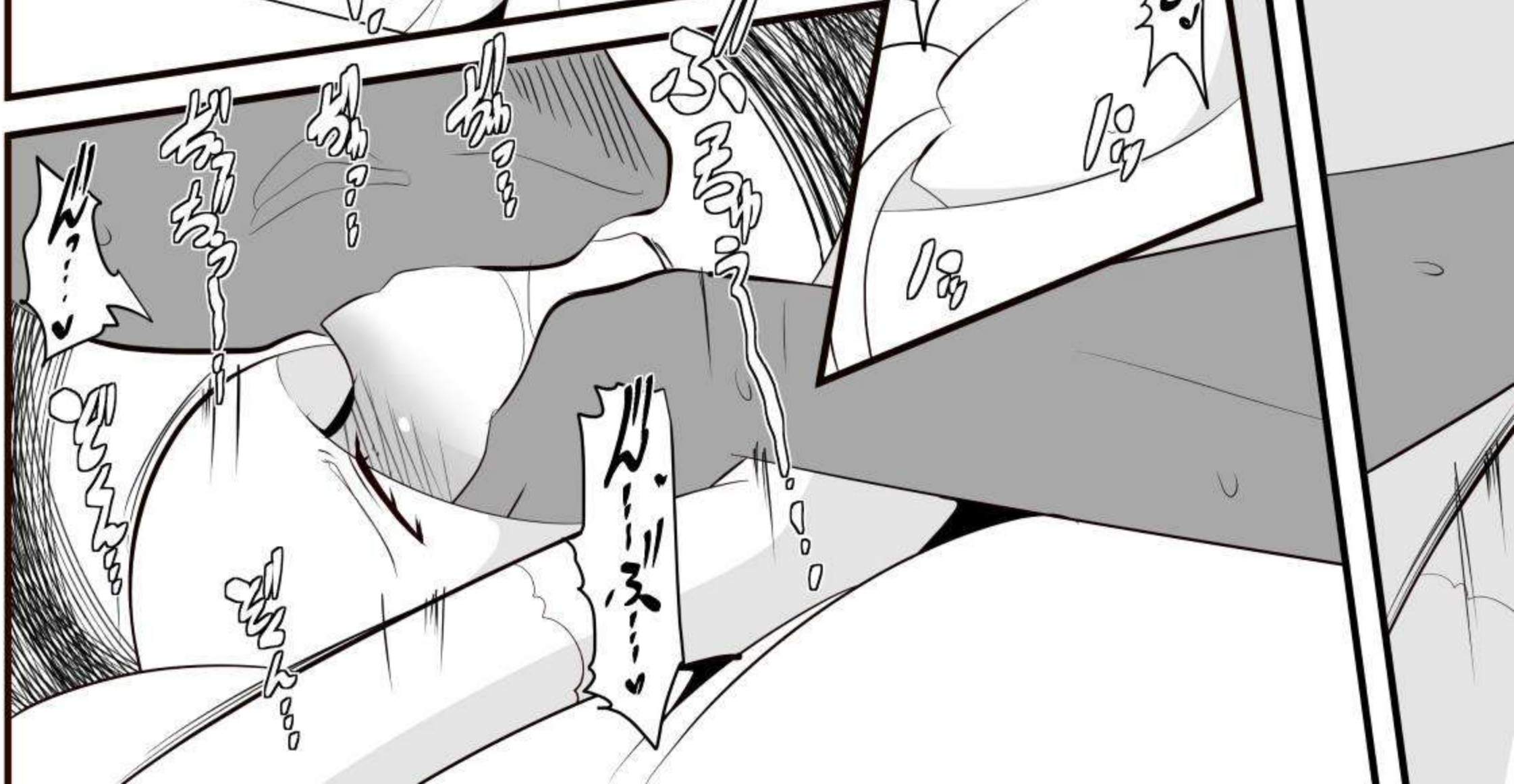
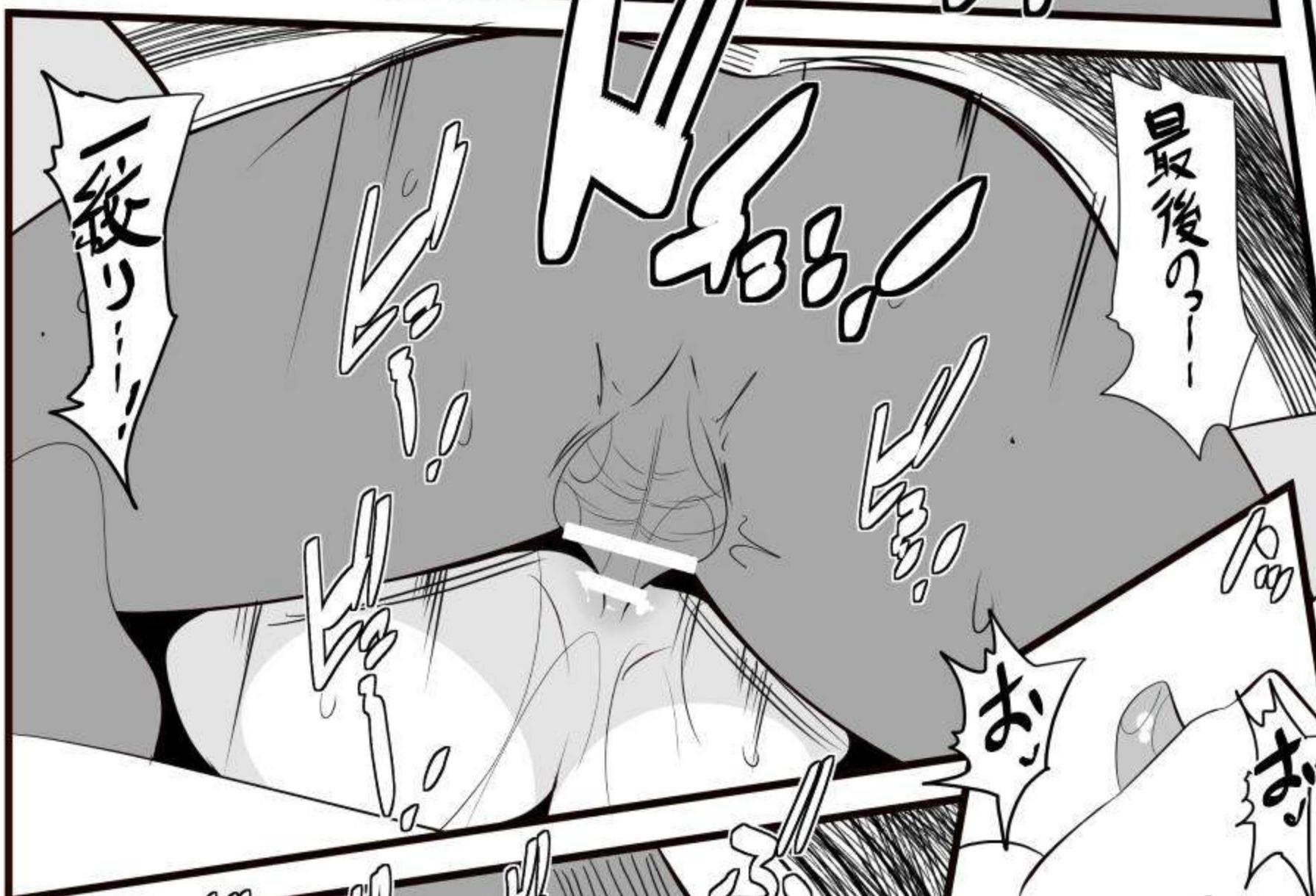
くっさい舌で口の中  
穢されながら犯されるの...

堪んない...



あ...  
い...  
く...

天  
神



くふふ……  
愛らしかったぞ？  
ルザミーネ

これから毎晩  
その躰を清めてやるから  
覚悟せい！



## 奥付

### ルザミーネの受難

発行 WMアートワークス株式会社  
著者 ワラビモチー  
発行日

pixiv ワラビモチー  
Twitter @Warabimochi411

DLsite.com・DMMでも  
複数商品発売中

無断転載・複製・WEBへのアップロード  
ネットオークションへの出品は厳禁です  
18歳未満の購入・閲覧を禁じます。



いつもあなたのそばにエロ同人

ワラビモチー